

研究レポート

アフガニスタン新国旗

札幌たの授サークル用レポート 2002.2.22

仮説実験授業研究会・北海道 丸山 秀一

[質問]

アフガニスタン暫定政権は 2002 年 1 月 27 日に新国旗を
採用しました。それはどんな旗だと思いますか。

予想



ア 旧国旗 に似た旗



イ 最初の国旗 に似た旗



ウ 旧王国旗 に似た旗



エ 旧共和国旗 に似た旗

オ そのほか

新国旗



アフガニスタン新国旗

2002.1.27 ~

暫定政権が決めた新国旗は、旧王国旗とそっくりで縦横比と国章が多少変更になったぐらいです。この国旗は暫定政権のカルザイ首相の案で、会議では10分もかからずに満場一致で決まりました。

[質問]

暫定政権は、なぜ旧王国旗を採用したのでしょうか。このことについてカルザイ首相はなんとおっしゃっていると思いますか。

予想

- ア 「新しい国旗を制定するのはまだ時期尚早である」
- イ 「アフガニスタンの原点から再出発する」
- ウ 「元国王を呼び寄せて王国としたい」
- エ そのほか

アフガニスタンの原点

カルザイ首相は、次のように述べています。

我々は国の原点に戻る。アフガニスタンの歴史の中で最も自由があった王国時代に。小麦の穂の意匠は、300年以上も前からアフガニスタンの新しい王のターバンに置かれたもので、国の印である。モスクは、我々がイスラム教徒であることを表している。信仰告白も入れたいので入れた。同じようなデザインの旗はソ連の侵略に対抗したアフガン戦士によって用いられた。この旗のデザインは1964年憲法に基づいている。この旗が、国内が多少分裂している現実で、国の統一を象徴してくれることを望む。

つまり、憲法を基本に据えた国の再建を彼は考えているわけです。そしてその憲法には、「国旗は等幅の黒・赤・緑の三色旗で中央に国章を置く」と書かれているのです。

[質問]

朝日新聞は、この新国旗に使われている色が象徴するものについても報道しました。どんな内容だったのでしょうか。

予想

- ア 黒は伝統，赤は社会主義，緑はイスラム
- イ 黒は歴史，赤は革命，緑は自然
- ウ 黒は暗黒時代，赤は流した血，緑は平和

国旗に使われている色の意味

「朝日新聞」(2002.2.6)では、新国旗の三色の意味が「黒は外国侵略と抑圧の暗黒，赤は対英独立運動で流された血，緑は自由と平和を象徴している」と報道されていましたが、「それが本当かどうか」は、難しいところがあります。国旗のデザインの解釈は、時代や人によって大きく変わることが少なくないからです。

[質問]

たとえば、日本の「日の丸」に使われている紅白の色にはどんな意味があるのでしょうか。国旗の本には、どう書かれていると思いますか。

予想

- ア 紅白は祝賀用の色
- イ 赤は情熱，白は広い心
- ウ 赤は誠意，白は純潔
- エ 赤は女，白は男

「日の丸」の色の意味

日の丸の旗が太陽（朝日）を表しているのは「常識」ですが、使われている色が象徴する意味となるとほとんどの日本人は答えられないでしょう。ところが多くの国旗の本には、「白は純潔と誠実、赤は光明、誠意、温情を表す」と書かれているのです。でもこれは公式にそう定義されているわけでもありません。もしこれが本当だとしても、「多くの国民が知らない国旗の象徴」に意味があるのでしょうか。

[質問]

インドの国旗に使われている橙色と緑色はそれぞれ何を表していると思いますか。インド政府の公式見解はどうなっているのでしょうか。



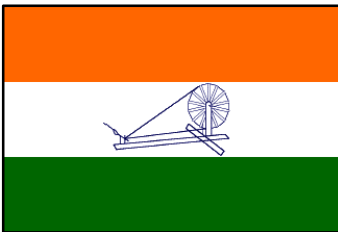
インド国旗 1947～

予想

- ア 橙はヒンズー教徒，緑はイスラム教徒
- イ 橙は勇気，緑は信仰
- ウ 橙は国土，緑は自然
- エ そのほか

インド国旗の意味

インド国旗のオレンジ色と緑色は公式にはそれぞれ「勇気・自己犠牲」と「信仰・弱者救済」を表すことになっています。しかしこの旗は、もともとインド国民会議の旗の中央の「ガンジーの糸車」をチャクラに変えたもので、インド国民会議の旗の橙はヒンズー教徒、緑がイスラム教徒、



そして白が「両者の和解」を表しているのです。

インド国民会議 1931～

[質問]



インド国旗によく似た国旗があります。それはアイルランド国旗（左図）です。アイルランド国旗の橙はカソリックのアイルランド人、緑は英国入植者のプロテスタント、白は両者の和解を表しています。インド国旗とこの国旗が似ているのは偶然でしょうか。

予想

- ア 偶然
- イ 偶然ではない

英国との関係

英国に併合され連合王国の一部となっていたアイルランドは、1922年に独立を達成しました。アイルランド国旗のデザインはフランス革命に影響を受けたものです。英国領土から独立を達成したアイルランドは、同じように英国からの独立を目指していたインドにとって模倣したい国でした。しかしアイルランドでの民族対決が現地人と英国からの入植者であったのに対して、インドではヒンズー教徒とイスラム教徒の対立が問題でした。「対立している両者が一緒になって英国に対する独立を勝ち取ろう」という気持ちが同じだったのです。



インド国旗の影響は、1048年に英国より独立したインドのすぐ南にあるスリ・ランカ（1972年にセイロンより国名変更）の

国旗（上図）に見ることができます。スリ・ランカは独立の三年後に、国内のヒンズー教徒とイスラム教徒を象徴する橙と緑の筋を国旗に加えたのです。

[質問]

このように政府の公式見解だからといってそれが史実とは限らないのです。では、「アフガニスタン新国旗の色が象徴するものについて」1962年憲法や暫定政府は、どのように言及しているのでしょうか。

予想

- ア 憲法・政府とも公式見解あり
- イ 憲法にのみ規定あり
- ウ 憲法に規定なし，政府の公式見解あり
- エ 憲法に規定なし，政府公式見解もなし

歴史的解釈

旗の意味は公式見解があっても怪しいものですが、アフガニスタンの旗の色が象徴するものについては、憲法には何も書かれていませんし、暫定政府もなんら言及していません。

しかし、黒、赤、緑の三色は、これまで十数回も変更されたアフガニスタンの国旗によく使われてきた色です。そこで伝統的に「黒色は敵や植民地主義者がアフガニスタンを侵略した時代を表し、赤色はアフガニスタンの自由と独立のための犠牲、緑色はイスラム的平和と繁栄を表す」とされているようです。「朝日新聞」報道の「黒は外国侵略と抑圧の暗黒、赤は対英独立運動で流された血、緑は自由と平和を象徴している」と似ています。

[質問]

「黒は外国による侵略の暗黒を象徴」という解釈は妥当だと思いますか。

予想

- ア 妥当である
- イ 妥当とは言えない

黒旗



アフガニスタン最初の国旗が、王家の伝統色である黒を使った黒旗（左図）です。最初にこの国旗が掲げられたとき、アフガニスタンは英

国の保護国でした。だから「黒が植民地時代の暗黒を表す」というのは妥当のような気がします。しかし、その後アフガニスタンは、この旗の元英国との独立戦争を戦い、独立達成後に掲げられたのも、この黒旗だったのです。ですから「黒は暗黒の時代を表す」とはちょっといえないでしょう。

[質問]

それでは「赤は対英独立運動で流された血」という解釈は妥当だと思いますか。

予想

- ア 妥当である
- イ 妥当とは言えない

赤と緑

国旗の中の赤色は、ふつう「独立のために流した血」と解釈されます。しかし、「対英独立戦争で流した血」とは、ちょっと見えそうにありません。独立を勝ち取ったのが



1919年であるのに、アフガニスタン国旗に初めて赤色が入ったのが、9年後の1928年のこと(左図)だからです。

しかも、このとき国旗には、社会主義を表す星のマークも入りました。英国と戦っていたアフガニスタンは、北の大国であったソ連に頼るようになっていたのです。ですから、このときの国旗の赤色は「対英独立戦争で流した血」という思いもあったでしょうが、「社会主義の赤」という意味が言下に含まれていたことも想像できます。



アフガニスタン民主共和国として社会主義政権が誕生したときの国旗(左図)は、赤一色の旗で、これは明らかに「社会主義を表す赤旗」でした。そして、同じ赤旗を掲げるソ連軍と戦ったことも「独立を守る闘い」だったはず。だから赤旗の意味が「独立のために流した血」であるなら、「対英」だけではなく、「対ソ」も含まれるはず。す。

またソ連軍を撤退させたあとの内戦を経てできたアフガ



ニスタン・イスラム共和国の旗
(左図)は、それまでの三色旗



(右図)から赤の色を抜いた
ものでした。これは明らかに

「社会主義の赤」を嫌ったのです。

それに、これから国際的な協力を得て復興しなければならぬアフガニスタンが国旗の色を「対英戦争で流した血」と解釈して、英国を刺激する必要はないはずです。

緑色は、「自由と平和の象徴」とありますが、これはあくまでも「イスラム教による自由と平和」で、「国旗の緑色がイスラム教を表す」というのは、イスラム教の国々では一般的なことです。

[質問]

「黒は暗黒時代を表す」というのは、どこからの発想でしょうか。アフガニスタン国旗に使われてきた色は、黒・赤・緑・白ですが、世界には、これと同じ配色を使う国旗のグループがあります。それはどんな国だと思えますか。

汎アラブ色

実は、これらのアフガニスタン国旗の三色の意味の解釈は、汎アラブ色国旗の色の解釈にとっても似ているのです。アラブ人の国の国旗は互いによく似ていて、使われている色も「黒・赤・緑・白」と同じです。その色の意味にはイスラム教の影響が強くあり、それぞれ「白は我々の功績、黒は我々の戦い、緑は我らの大地、赤は我らの剣」を象徴しています。最初の汎アラブ国旗は、ヘジャズの国旗で1917年に掲げられ、その後1920年にシリア、1921年にイラクとトランスヨルダン、1922年にパレスチナでそれぞれ採用されました。1928年採用のアフガニスタン最初の三色旗は、これらの旗の影響を受けていたのかも知れません。

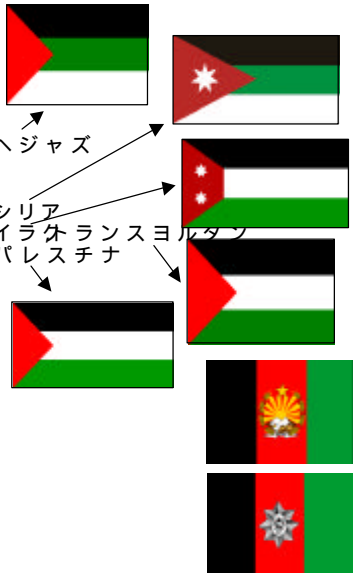
しかし、汎アラブ色国旗の色が「黒は弾圧の時代、赤は血を流した戦いでの勝利、白は明るい未来を象徴する」とされたのは、1952年のエジプト革命で「アラブ解放旗」が採用されたあとのことです。おそらくこれ以降、アフガニスタン国旗の色の解釈にも、この「アラブ解放旗」の色の解釈が入り込んだものと思われます。

[質問]

アフガニスタン新国旗はかつての王国旗のように何年も翻ることができるでしょうか。これからの国旗の変化を予想してみましよう。

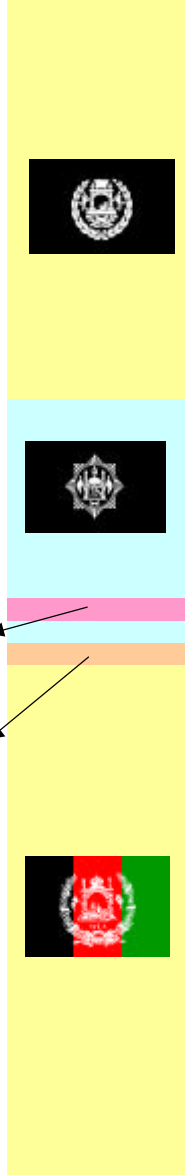
アラブ国家の成立年

1901
1902
1903
1904
1905
1906
1907
1908
1909
1910
1911
1912
1913
1914
1915
1916
1917
1918
1919
1920
1921
1922
1923
1924
1925
1926
1927
1928
1929
1930
1931
1932
1933
1934
1935
1936
1937
1938
1939
1940
1941
1942
1943
1944
1945
1946
1947
1948
1949
1950
1951
1952
1953



1917へジャズ
1920シリア
1921ラハスヨルダン
1922パレスチナ

アフガニスタンの国旗



Maruyama Shuichi 2002.2



1952アラ解放

おわりに

「アフガニスタンの旗」をまとめて、「おそらく新国旗は旧王国旗のデザインのものになるだろう」と思っていたら、予想が当たってうれしくなりました。そんなとき「新国旗に使われている色が象徴するもの」についての報道があり、それをとても疑わしく思っていたところ、仮説社の川崎浩さんから「そのことについて書いて欲しい」と言われて、調べてみることにしました。もちろんここで書いたことは、ボクの予想に過ぎませんが、「当たらずといえども遠からず」ではないかと思っています。汎アラブ旗の変遷については、以前より書きたいと思っていたのですが、このレポートでもその一部を書いただけで、そこがちょっと不満なところ です。

文献

アフガニスタン国旗の伝統的色の解釈について

「アフガニスタン国旗の歴史とデザイン」アフガン情報
(英文) www.afgan-info.com/Flags/Flags.htm

汎アラブ色国旗について

Alfred Znamierowski 「汎アラブ色」『The World Encyclopedia Of FLAGS』(英文)

初期の汎アラブ国旗図版については、この本と FOTW では一致しない。本レポートでは、図版は FOTW のものを採用した。

インド国旗の意味について

Flags Of The World (英文)

www.fotw.vexillum.com/flags

ホイットニー・スミス 『世界旗章大図鑑』平凡社(絶

版)

ロイター電

David Fox「岐路に立つ国に翻るアフガン国旗」2002.2.5
(英文)

www.reuters.com/news_article.jhtml?type=worldnews&StoryID=570802

画像

すべての画像は Flags Of The World (英文)

www.fotw.vexillum.com/flags/ からのものです。

- *Jaume Ollé* 1ペ ア, イ, 10ペ, 11ペ上, 12ペ上, 14ペ シリア
- *Mark Sensen* 1ペ ウ, エ, 7ペ, 11ペ下, 12ペ下
- *Juan Manuel Gabino modified by Santiago Dotor* 2ペ
- *Joe McMillan, recoloured by Rob Raeside* 5ペ
- *Dylan Crawfoot* 6ペ上
- *Vincent Morley* 6ペ下
- *Filip Van Laenen* 14ペ ヘジャズ
- *Vincent Morley* 14ペ イラク
- *Filip van Laenen and Santiago Dotor* 14ペ トランスヨルダン
- *Santiago Dotor* 14ペ パレスチナ, アラブ解放旗

丸山秀一

kasetu.maruyama.nifty.com